

組織の目標

多摩ニュータウン環境組合

事務局長:伊野 元康
職員数:19人(令和8年4月1日時点)

■組織の役割

- ①ごみ処理施設の設置及び運営に関すること
- ②廃棄物のごみ処理施設から最終処分場までの運搬に関すること

令和8年度

■組織の目標

多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場の経営方針として定める「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」の実現

■組織の取り組み方針

中期経営計画「ビジョン2027」に定める4つの目標

- ①安全で持続可能な循環型社会の推進
 - ②効率的で開かれた組合運営の推進
 - ③地元住民及び構成市との連携の推進
 - ④新施設を見据えた対応
- の実現に向け、「ビジョン2027」に定める事項に取り組むとともに、経営方針の実現に必要な対応を実施する。

■具体的な取り組み

- 1 新焼却施設の建設に向けて、持続可能かつ効率的なごみ処理体制のあり方について検討する。【総務課】
- 2 設備の老朽化に対応するため、劣化状況に合わせ長期修繕計画を見直し、効果的に機器補修工事を実施する。【施設課】
- 3 清掃工場や運搬過程において相次いで発火事故が発生しているリチウムイオン電池を安全に処理することが急務であることから、引き続き、場内で安全に処理するための改善活動を実施する。【施設課】
- 4 多摩清掃工場の役割や活動を広く周知していくため、引き続き、当組合広報担当特別スタッフ「タマちゃん」(キャラクター)を活用した広報活動、地域交流事業、地元協議会、施設見学等を実施するとともに、近隣施設や団体との協力による活動を実施する。【総務課】
- 5 令和8年度より開始する組合独自の歳入事業について、歳入の確保に向けた取り組みを進める。【総務課】
- 6 令和10年度から5年間を計画期間とする中期経営計画の策定に向けて、検討を開始する。【総務課、施設課】

■内部改革の方向性

- 1 環境マネジメントシステムを基盤として、多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場運営の継続的な改善、向上に取り組む。
- 2 「業務継続計画」や「消防・防災マニュアル」に基づく災害発生時における体制について、強化・充実を図る。
- 3 多摩ニュータウン環境組合の組織、人員体制及び人材育成等の在り方について検討する。
- 4 令和8年3月に策定した「多摩ニュータウン環境組合職員ハラスメント防止指針」に基づき、ハラスメントのない職場づくりに取り組む。

■ 組織の目標

多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場の経営方針として定める「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」の実現

■ 組織の取り組み方針

中期経営計画「ビジョン2027」に定める4つの目標
 ①安全で持続可能な循環型社会の推進
 ②効率的で開かれた組合運営の推進
 ③地元住民及び構成市との連携の推進
 ④新施設を見据えた対応
 の実現に向け、「ビジョン2027」に定める事項に取り組むとともに、経営方針の実現に必要な対応を実施する。

■ 具体的な取り組み

(成果)

1 新焼却施設の建設に向けて、循環型社会形成推進地域計画の策定に取り組む。【総務課】

⇒ 令和7年9月にごみ量調査等を実施し、循環型社会形成推進地域計画に必要な数値を構成市に調査し、回答を得た。循環型社会形成推進地域計画の策定については、製品プラスチックの資源化要件が揃わないことから作成時期を令和8年度から令和10年度に変更とした。

2 不測の事故、災害等が発生しても構成市のごみ処理が滞らないようにするため、「事業継続計画」を策定する。【総務課、施設課】

⇒ 清掃工場における不測の事態に備えるものとして、業務継続計画の策定に取り組む。令和8年2月12日に開催した兼任職員会議において素案を報告、3月に「事業継続計画」を策定した。

3 設備の老朽化に対応するため、劣化状況に合わせ長期修繕計画を見直し、効果的に機器補修工事を実施する。【施設課】

⇒ 施設の劣化状況を踏まえて長期修繕計画を更新した。また、最新技術の動向も考慮し、建替時期までのライフサイクルコストを最適化するため、効果的な機器補修工事を実施した。

4 運転管理業務委託の契約更新に向けて、引き続き、委託内容及び業務の効率化について検討する。【施設課】

⇒ 契約更新にあたり、施設課が個別に契約している業務を運転管理業務委託へ統合できるか、業務量と内容の両面から検討を行った。

5 清掃工場や運搬過程において相次いで発火事故が発生しているリチウムイオン電池を安全に処理することが急務であることから、引き続き、環境組合にとって最適な処分先を調査するとともに、場内で安全に処理するための改善活動を継続していく。【施設課】

⇒ 処分先の確保とともに、安全な処理体制を構築するため、以下の改善活動を実施した。【施設課】
 (1) 発火頻度の高い場所を特定し、消火訓練を実施するとともに、その結果を消火手順に反映した。
 (2) AIによるリチウムイオン電池検出装置の実証実験に協力
 (3) サーモカメラを用いた熱監視による巡回の強化
 (4) 外部講師を招いたリチウムイオン電池対策研修の実施

6 新たな組合独自の歳入を令和8年4月から導入するため、必要な規定を整備する。【総務課】

⇒ 独自歳入の検討方針に基づき、導入にあたって必要な内容の整理と規定整備を行い、5事業について令和8年度開始の準備が完了した。また通勤用自動車の臨時駐車の有料化を図った。

7 多摩清掃工場の役割や活動を広く周知していくため、当組合広報担当特別スタッフ「タマちゃん」(キャラクター)を活用した広報活動、地域交流事業、地元協議会、施設見学等を引き続き実施するとともに、近隣施設や団体との協力による活動も実施する。【総務課】

⇒ 計画した事業は全て実施した。また、大妻多摩中学高等学校との相互事業(総合学習での組合職員による出張授業など)を実施した。

■ 内部改革の方向性

(成果)

1 環境マネジメントシステムを基盤として、環境組合及び多摩清掃工場の運営の継続的な改善、向上に取り組む。

⇒ 環境マネジメントシステムを基盤として工場の運営を行った。また、継続的な改善や向上の取り組みとして外部監査を受け対応した。

2 新施設を見据え、多摩ニュータウン環境組合の組織、人員体制及び人材育成等の在り方について検討する。

⇒ 新施設の整備を見据え、令和8年度から令和19年度までの、構成市別、役職別の人事計画を作成、管理者決裁を経た後、構成市へ説明を実施した。人材育成等のあり方については、人材育成基本方針に基づき研修計画を策定し、研修を実施した。